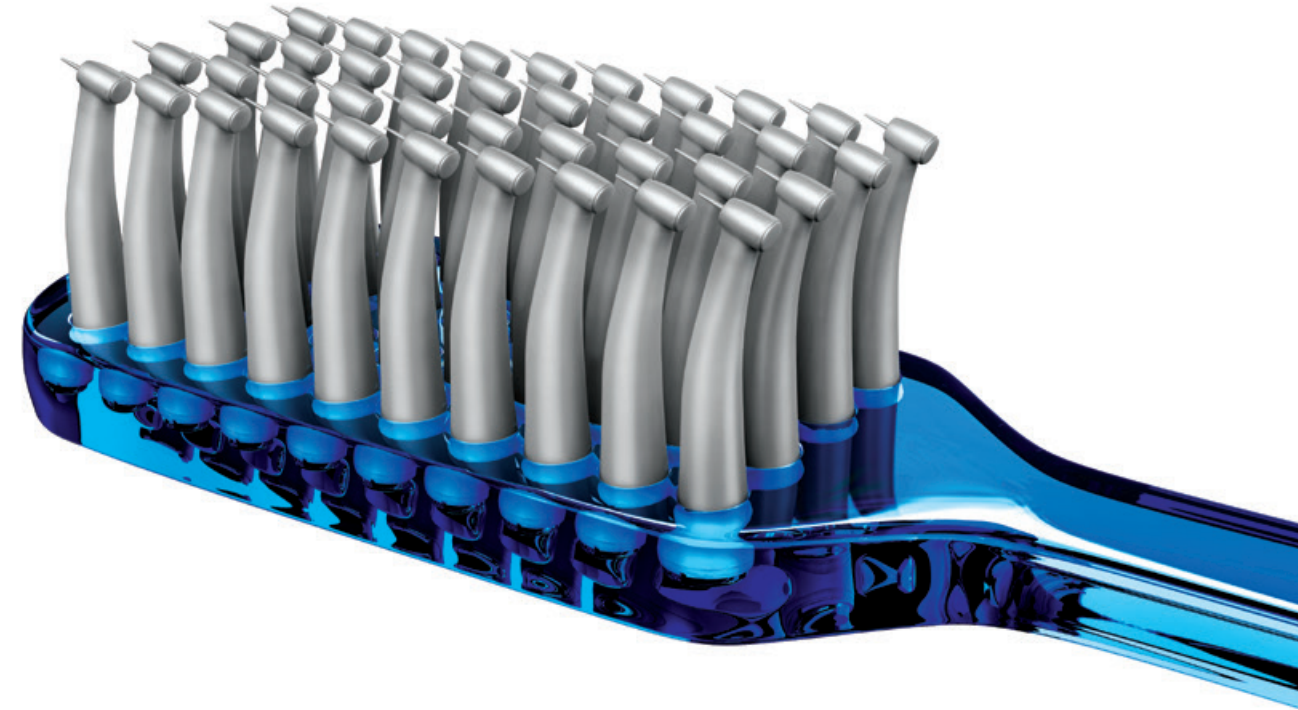


■ 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月中
配当金受領株主確定日	期末配当金 12月31日 中間配当金 6月30日 ※中間配当の実施を取締役会で決議した場合
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
単元株式数	100株
株式取扱手数料	単元未満株式買取手数料 無料
お知らせ	<ul style="list-style-type: none">● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。● 未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。● 「配当金計算書」について 配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告をされる株主様は大切に保管ください。 ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

NSK
CREATE IT.

BUSINESS REPORT



第64期第2四半期

2015年1月1日～2015年6月30日

株式会社 **ナカニシ**

株式会社 **ナカニシ**

〒322-8666 栃木県鹿沼市下日向700番地 TEL 0289(64)3380 FAX 0289(62)5636

世界初の45度アングルヘッド歯科用ドリル「Ti-Max Z45L」が、 米国 Edison Universe 主催の Edison Awards において、ユニークかつ 革新的な製品として、最高位の賞である 「Edison Awards Gold」を受賞しました。

従来の歯科用ドリルの先端の形状は90度の角度になっているのが常識でしたが、当社は45度の角度を持ったコントラ（モーター駆動の歯科用ドリル）を世界で初めて製品化しました。これにより、今まで困難な治療であった奥歯の治療や親知らずの抜歯を簡単、安全、しかもスピーディーに行えるようになりました。歯科の先生と患者の負担を大幅に軽減する革新的な製品として世界中で高く評価され、今回の受賞につながりました。

この様な名誉ある賞を受賞したことを誇りとして、当社は全世界の歯科医療従事者のために、より一層革新的な製品を開発・提供できるよう取り組んでまいります。

Edison Awards について

Edison Awardsは、米国発明家のトーマス・エジソンの名を冠し、新製品やサービスの技術革新と革新者を称えるものとして1987年に創設されました。製品開発、デザイン、工学、化学等の専門家数千人による委員会によって、Concept、Value、DeliveryそしてImpactの4つの軸から総合的に評価がなされ、受賞者が決定されています。



Ti-Max Z45L

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2015年上半期は、大きく飛躍した前年と同様に受注、出荷状況ともに高い水準で推移し、計画を上回る堅調な結果になりました。

3月には2年に1度開催される国際デンタルショー（IDS）がドイツのケルンにおいて開催され、過去最大規模のブースを出展するなど、販売、マーケティング活動を積極的に展開し、ブランド認知度の向上を図りました。

また、5月には、当社の45度アングルヘッド歯科用ドリル「Ti-Max Z45L」が、アメリカのEdison Awardsにおいて、歯科・耳鼻科部門で最高位の賞である「Edison Awards Gold」を受賞するという非常に喜ばしいニュースがありました。当社の革新的な製品開発力と、それを実現した技術力が高く評価されたものと自負しております。長年築き上げてきた開発、製造、販売の三位一体の体制が上手く機能した結果、好調な受注や栄誉ある受賞に繋がりました。今後も歯科業界のグローバルNo.1企業として、革新的な新製品の開発、高品質を支える製造技術の更なる向上、そしてお客様から信頼される販売ネットワークとアフターサービスの充実を図ってまいります。

株主の皆様には、今後とも当社の成長にご期待いただくとともに、一層の理解とご支援を賜ります様お願い申し上げます。

代表取締役社長

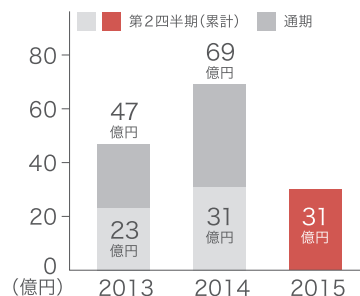
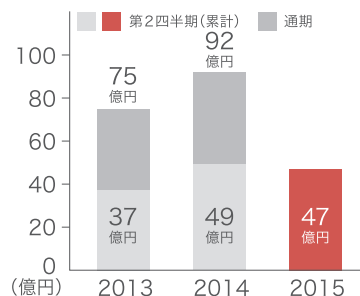
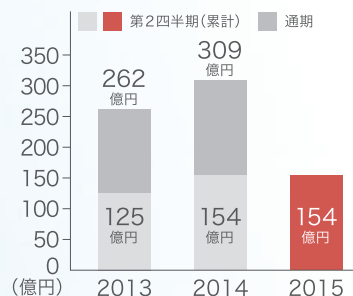
中西 英一

対前年同期比では減収減益となりましたが、
受注は好調であり、売上高、利益ともに計画を上回りました。

2015年上半期の事業概況と業績について

当上半期は、大幅に業績を伸ばした前年同期の実績には若干及ばなかったものの、昨年来の好調な受注状況は継続しており、売上高、利益ともに計画を上回りました。歯科製品関連事業では、ルーブル安の影響によるロシア地域の大幅な減収、非コア事業である足病製品事業を展開する子会社を売却し、連結から除外したことによる売上高の減少などがありました。円安ドル高となったことによる増収効果により、売上高は前年同期比0.2%増の133億円となりました。一方、工業製品関連事業は、好況が続く市場

環境を背景に主力製品の受注は好調に推移したものの、北米市場における歯科CAD/CAM関連スピンドルの減収により、売上高は前年同期比7.8%減の15億円となりました。これらの結果、全社合計の売上高は前年同期比0.5%減の154億円となりました。営業利益は、2年に1度開催される国際デンタルショー（IDS）に向けた販促費等の増加の影響もあり、前年同期比4.3%減の47億円となり、四半期純利益は前年同期比1.7%減の31億円となりました。



歯科製品関連事業の概況について

当上半期は、世界最大のデンタルショーである国際デンタルショー（IDS）が開催されました。当社も過去最大規模のブースを構え、多くの来場者に新製品及び主力製品をご覧いただきました。製品の優れた機能を訴求するとともに、新しいブランドスローガンである「CREATE IT.」を掲げ、世界における「ダントツNo.1」ブランドに向けた戦略を展開しました。

[欧州] ドイツ、フランス、イギリス、スペインのいずれの現地法人も好調に推移しました。特にスペインは、付加価値税の増税による反動減を見込んでおりましたが、想定した落ち込みは無く、大幅に計画を上回りました。各現地法人ともに増収だったものの、足病製品事業を営むPODIA FRANCE S.A.S.を連結除外したこと、円高ユーロ安となった影響により、連結では前年同期比1.8%の減収となりました。

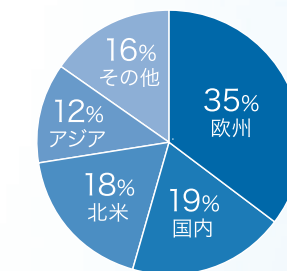
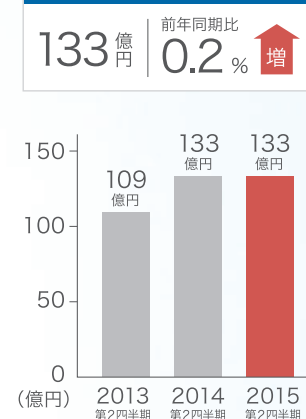
[国内] 一部のOEM向け製品において、前年の消費税増税による反動減の影響が長引いているものの、昨年来からの滅菌対応による需要は継続しており、前年同期比0.1%の増収と、好調だった前年同期とほぼ同水準の売上高となりました。

[北米] OEM向け製品において、前年同期に受注した大型案件の反動減があったものの、自社ブランド製品の販売が好調に推移したこと、円安ドル高となった影響により、前年同期比3.4%の増収となりました。

[アジア] 代理店網整備の効果が表れた中国及び韓国が増収となりました。また、市場拡大が継続しているインド、タイ、インドネシアなどの東南アジアも好調に推移し、アジア地域全体で前年同期比25.0%の増収となりました。

[その他] 中東は大幅な増収となりましたが、ルーブル安及び原油安の影響によりロシアが大幅な減収となった結果、前年同期比12.9%の減収となりました。

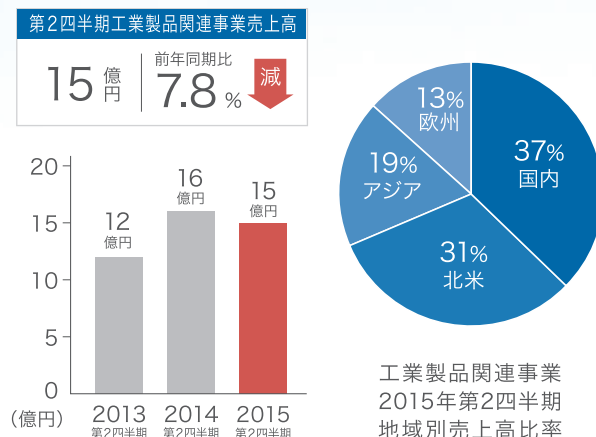
第2四半期歯科製品関連事業売上高



歯科製品関連事業
2015年第2四半期
地域別売上高比率

工業製品関連事業の概況について

当上半期の工業製品関連事業の売上高は、北米市場における歯科CAD/CAM関連スピンドルが大幅減となった影響により減収となりました。一方、製造業の旺盛な設備投資意欲を背景に、主力製品の受注は好調に推移しました。当社の小径の高速スピンドルは、高い精度とスピードが要求される製造業の設備投資ニーズに合致し、スマートフォン、ハードディスクの加工向けはもとより、自動車部品関連メーカーからも多くの引き合いをいただきました。今後も他社の追随を許さないオンリーワンスピンドルメーカーとして、様々な生産現場に対する提案営業を推し進め、新規需要を創出してまいります。



東京デンタルショー 2015に出展

2015年8月1日、2日に東京ビッグサイトにおいて東京デンタルショーが開催され、「口腔から全身の健康を科学する・今！東京に集結する最新の歯科医療」というキャッチコピーのもと、最新の機材、情報が展示されました。

8月発売の新製品として、当社ブランド初となるハンドピース滅菌器「iClave mini」（小型高圧蒸気滅菌器）を発表し、ハンドピースメーカーが開発した、ハンドピースのための滅菌器として、多くの歯科医の先生方、販売関係者から高く評価いただきました。ハンドピースに優しく、コンパクトでありながら大容量で効率が良い点など、日本の先生方のニーズを的確に捉えた製品であることから、早くも予想以上の引き合いをいただいております。



東京デンタルショー2015・NSKブース(東京ビッグサイト)

2015年度の通期業績予想について

当下半期も引き続き主力製品の拡販、世界的なブランディングを推進し、各セグメント、各地域においてシェア拡大を進めてまいります。歯科製品関連事業におきましてはハンドピース・インプラント・予防歯科関連製品の拡販に注力し、工業製品関連事業におきましては、旺盛な設備投資需要を確実に取り込んでまいります。業績予想につきましては、2014年度の増収に寄与した特需及び駆け込み需要等の反動減を補い、2014年度とほぼ同水準の製品販売数量を見込むものの、若干の減収となる見通しです。

営業利益につきましては、売上総利益の減少に加え、費用面では事業規模拡大に伴う販売費及び人件費の増加等もあることから減益となる見通しです。また、2014年度の営業外収益に計上した為替差益9億円の反動により、当期純利益も減益となる見通しです。なお、2015年度の想定為替レートは1USドル=115円、1ユーロ=130円を前提としております。

中間配当について

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと認識し、業績動向及び事業展開に備えた内部留保等を勘案した上で、安定的に配当を継続することを基本方針としております。中間配当につきましては、一層の株主還元を図ることを目的として前年同期から実施しており、今期につきましても同様に1株につき20円の配当を実施いたします。なお、期末配当金につきましては、2015年2月7日公表の通り、1株につき20円を予想しております。

自己株式の取得について

株主への一層の利益還元と、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能にするために、2015年2月6日に自己株式の取得について取締役会にて決議しております。2015年6月末日現在の取得状況は、取得株220,000株に対して79,200株、取得価額10億円に対して3億円です。取得率は株数、金額ともに36%です。

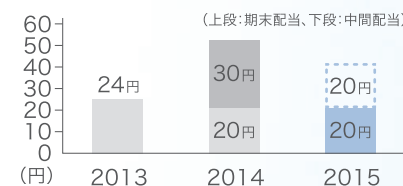
■ 2015年12月期 業績予想

売上高	営業利益	当期純利益
305億円	86億円	57億円
前期比 1.1%減	前期比 6.7%減	前期比 16.8%減

■ 想定為替レート

1USドル	1ユーロ
115.00円	130.00円

■ 1株当たり年間配当金推移



■ 自己株式の取得に関する決議内容

取得する株式の種類	当社普通株式
取得する株式の総数	22万株(上限)
株式の取得価額	10億円(上限)
自己株式の取得期間	2015年2月9日から 2015年12月31日まで

(2015年2月6日決議)

東京大学、ナカニシ、鹿沼歯科医師会が健康研究でコラボレーション ～口の健康と全身健康の包括的な研究で協力～

東京大学

ナカニシ

鹿沼歯科医師会

近年、口の健康がますます重要視されていますが、職場における歯科健診は未だに義務ではありません。口の健康は全身の健康及び仕事のパフォーマンスに関連するとも言われており、その関係を明らかにすることは口の健康の重要性を示すことになると考えられます。そこで当社は、福利厚生の一環として、歯科健診や予防歯科診療(歯科メンテナンス)の補助などの健康増進の取り組みを開始するとともに、口の健康と全身の健康に関する研究に協力することとしました。

研究に関しましては、東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室(小林廉毅教授)が当社従業員の一般健康診断と歯科健診のデータ解析を行い、口の健康が全身の健康へ及ぼす影響を研究してまいります。口の健康管理が生産性に影響するというこのみならず、高齢となった際の健康にも大いに影響し得ることを明らかにし、広く社会の健康維持、増進にもつながる様、貢献していきたいと考えております。

歯科健診 + 予防歯科診療(歯科メンテナンス)補助制度をスタート

取組 1 年1回の歯科健診を会社負担で実施

■ 従業員の健康増進……全従業員を対象とした歯科健診を定期的実施することで、口腔内の状態を把握し、早期治療を促すことにより健康増進を図ります。

■ 研究用データ収集・提供……当社の本社所在地である栃木県鹿沼市、その地元の鹿沼歯科医師会が当社従業員の歯科健診を実施し、当社はその歯科健診と一般の健康診断のデータを東京大学に提供します。



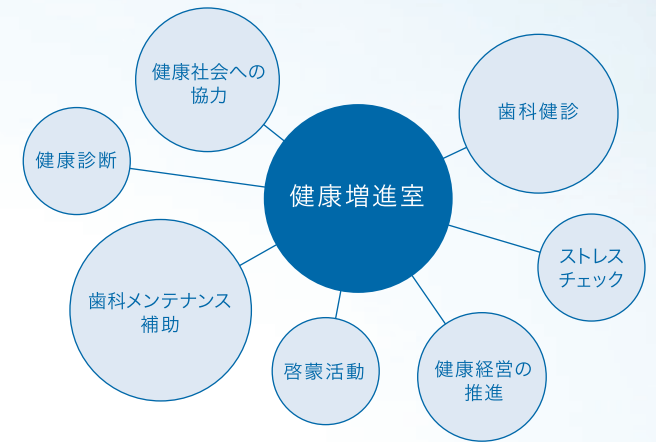
ナカニシ歯科健診室

取組 2 予防歯科診療(歯科メンテナンス)費用を補助

■ 更なる健康増進のために予防歯科診療(歯科メンテナンス)費用を補助します ……………
 口の健康を保つためには、歯石やプラーク、バイオフィルムを定期的に除去するなどの歯科メンテナンスが必要です。歯科メンテナンスは保険適用外の自費診療実施で従業員の負担も大きいことから、当社ではその費用を年15,000円補助し、歯科メンテナンス実施を促進します。

健康増進室を新設

従業員の身体の健康増進と社会の健康への貢献を目的として、健康増進室を新設しました。前頁でご案内の通り、口の健康と全身健康の研究協力、歯科健診・予防歯科診療(歯科メンテナンス)補助制度の導入など、早くも健康経営に向けた取り組みを実施しております。従業員の健康は、従業員及び家族の幸せな生活の基本であるとともに、会社の成長の礎であると考え、専任部署を設置することにより、健康増進に向けた取り組みを積極的に推進いたします。また、医療機器を製造・販売する企業として、社会の健康に貢献することも目指してまいります。



コンプライアンスの取り組み

法令、社会規範に則り、全てのステークホルダーからの信頼に応え、企業市民として期待される社会的責任を果たすために、コンプライアンスの実践に力を入れております。コンプライアンスマニュアルを策定し、全従業員への配付、教育を行っております。また、内部通報制度を改定し、より通報しやすい外部専門機関を設置しました。早くも一定の効果が表れており、今後も従業員の人格・人権を尊重するとともに、従業員が働きやすい職場環境の実現に努めます。

ユニフォームをリニューアル

当社は、働きやすい環境づくりの一環として、従業員が毎日身につけるユニフォームにもこだわり、デザイン、機能性を追求した新しいユニフォームを制作しました。「NSKという“チーム”にふさわしい新ユニフォームを」というコンセプトのもと、ロンドンオリンピック日本公式ウェアのデザイナーである相澤陽介氏がデザインしました。新しいユニフォームにより、従業員のブランドロイヤリティの醸成を図ります。



相澤陽介氏



GYMNASTICS
 フットワーク感
 エネルギッシュ スタイリッシュ

DESIGN
 X
 CONCEPT

TEAM NAKANISHI
 競争する仲間 自信
 先進技術イメージ

ENVIRONMENT

環境問題は世界中の人々に共通する重要な課題であり、企業の環境負荷軽減への取り組みが経営の質、ひいてはその製品への評価にまで影響する時代となりました。当社は早くから環境問題に取り組み、1999年1月には世界標準の環境マネジメントシステムであるISO14001認証を取得しました。歯科医療用機器をはじめとした超高速回転機器製品の開発設計・製造・販売・サービス等の全ての企業活動において、未来の地球環境に向けて環境負荷を軽減し、自然との調和、健康的で豊かな社会づくりを目指すことを経営の基本におき、次の環境活動を実施します。

① 汚染予防・省エネルギー・省資源の継続的改善

- エアコンを従来より45%省エネの高効率型に入れ替え
- 最大電力を管理するデマンド監視装置設置
- 自動運転制御盤を設置し、ABC棟の電力の約3% (年間約96,600kWh) を削減
- 太陽光パネル256枚を本社棟全面に設置
- 電力可視化システム「エコワイズ」導入
- 化学物質管理ソフト「エコデュース」導入

③ 全てのプロセスにおける環境負荷の低減

- オゾン層破壊物質のフロン液全廃
- 水質汚濁有害物質の有機溶剤(塩化メチレン)全廃
- PRTR法該当物質であるスーパーミルストリーム全廃
- 第1種有機溶剤であるトリクロロエチレン全廃
- 第3次処理浄化槽設置



本社棟の太陽光パネルの年間発電量は一般住宅約8軒分と、栃木県内トップクラス



切削油精密ろ過装置により切削油のリサイクル率97%を実現



工場で使った水は浄化装置で完全にクリーンにし社内の池を通過させた上で河川に放流

④ 工場周辺の自然環境への配慮

- ダイオキシン等大気汚染物質を排出する小型焼却炉撤廃
- 工場近隣の水質自主パトロール

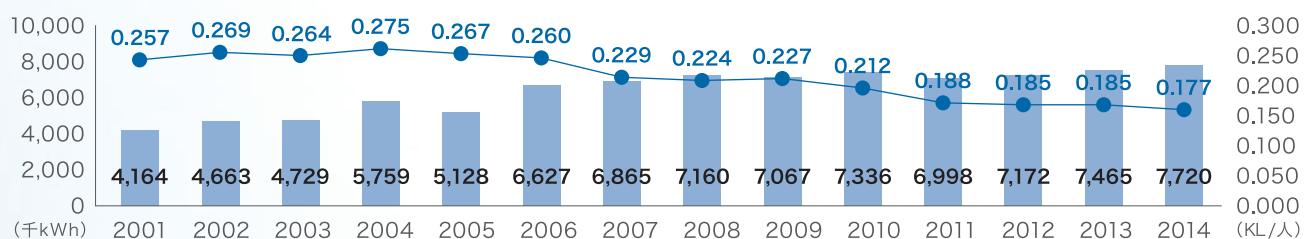
⑤ 環境方針の周知

- 社内「環境影響調査」実施
- 資材・エネルギーの「ロス撲滅」キャンペーン実施

② 環境関連法規制その他の要求事項及び自主基準の遵守

- 新型高燃焼「エースプラザ2型焼却炉」設置によりばい煙排出基準値を大幅にクリア
- 「擬集沈殿型生物排水処理装置」設置により研磨処理液等の工場廃水基準値を大幅にクリアし維持
- 国際環境基準マネジメント規格「ISO14001」認証取得
- 廃棄電気・電子機器指令(WEEE)への対応完了
- 電気電子機器に含まれる特定有害物質使用制限指令(RoHS)への対応完了

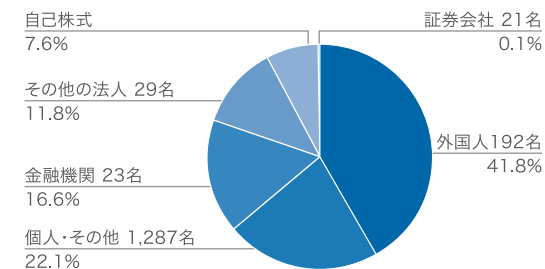
■ 全社電力量推移(原油換算)



株式の状況 (2015年6月30日現在)

- 発行可能株式総数 125,000,000株
- 発行済株式の総数 31,419,800株
- 株主数 1,553名

■ 株式分布状況



■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
ナカニシE&N株式会社	1,510千株	5.2%
中西崇介	1,430千株	4.9%
中西千代	1,430千株	4.9%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,384千株	4.8%
ジェービー・モルガン・チェース・バンク 385632	1,081千株	3.7%
株式会社オフィスナカニシ	1,040千株	3.6%
中西英一	938千株	3.2%
中西賢介	935千株	3.2%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	839千株	2.9%
株式会社足利銀行	755千株	2.6%

(注) 1. 当社は、自己株式を2,403千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

会社概要 (2015年6月30日現在)

社名 株式会社 **ナカニシ**
 設立 1951年2月
 代表取締役社長 中西英一
 資本金 867,948,542円
 従業員数 849名(連結)
 本社 栃木県鹿沼市下日向700番地
 事業所 本社・工場
 東京事務所
 大阪事務所
 ドバイ事務所(UAE)
 モスクワ事務所(ロシア)

役員 代表取締役社長 中西英一
 代表取締役副社長 中西賢介
 専務取締役 尾上俊治
 取締役 野長瀬裕二
 常勤監査役 豊玉英樹
 監査役 染宮守
 監査役 澤田雄二

(注) 1. 取締役 野長瀬裕二は社外取締役です。
 2. 監査役 豊玉英樹、染宮守、澤田雄二は社外監査役です。

主要関係会社
 NSK-America Corp.(アメリカ)
 NSK Europe GmbH(ドイツ)
 NSK France S.A.S.(フランス)
 NSK United Kingdom Ltd.(イギリス)
 NSK Nakanishi Dental Spain S.A.(スペイン)
 NSK Oceania Pty. Ltd.(オーストラリア)
 NSK Shanghai Co.,Ltd.(中国)
 Dental X S.p.A(イタリア)

主要取引銀行
 足利銀行、みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行